

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 4 月 1 日現在

機関番号：32690

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23520069

研究課題名 (和文) 『大乘四論玄義記』と『大乘玄論』との比較に基づく中国南朝仏教学の研究

研究課題名 (英文) Research on the Buddhist Studies of the Southern Dynasties of China: Based on a Comparison between the *Dasheng silun xuanyi ji* and the *Dasheng xuanlun*

研究代表者

菅野 博史 (Kanno Hiroshi)

創価大学・文学部・教授

研究者番号：50204805

交付決定額 (研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000 円、(間接経費) 1,110,000 円

研究成果の概要 (和文)：『大乘四論玄義記』のテキスト研究の成果として、すでに慧均撰・崔鉉植校注『校勘 大乘四論玄義記』が刊行されたので、写本の研究についてはほぼ終わったといえる。そこで、とくに「仏性義」の現代語訳と注釈研究に取り組んだ。日本印度学仏教学会や海外の学会で、『大乘四論玄義記』に関する研究発表を行ない、その成果を数篇の専門の論文として刊行した。南朝仏教学に関する研究成果として、『法華文句』、『法華玄義』の訳注研究を出版した。南朝仏教学の重要人物である道生、法雲、慧思、吉蔵などの思想研究をすすめ、論文を発表した。南朝仏教学に関するこれまでの研究の集大成として、筆者の論文集を刊行した。

研究成果の概要 (英文)：As the edition of the text of the *Dasheng silun xuanyi ji*, which was written by Huijun, was published by Choe Yeonshik in 2009 in Korea, it can be said that the study of the manuscript of the *Dasheng silun xuanyi ji* was almost finished. I have thus taken up the task of making annotated translation of the section “Meaning of Buddha Nature” in the *Dasheng silun xuanyi ji*. I have presented some papers at the annual conferences of the Japanese Association of Indian and Buddhist Studies and some overseas conferences, and have published them. I have published annotated translations of the *Fahua wenju* and the *Fahua xuanyi* as the result of research on Buddhist Studies in the Southern Dynasties. I have published papers about Daosheng, Fayun, Huisi, and Jizang, who were representative monks in the field of Buddhist Studies in the Southern Dynasties. I have published the collection of my papers, which is the integration of my previous papers concerning Buddhist Studies in the Southern Dynasties.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・印度哲学・仏教学

キーワード：慧均、吉蔵、『大乘四論玄義記』、『大乘玄論』、三論宗、仏性

1. 研究開始当初の背景

日本における『大乘四論玄義記』の研究は、大谷大学の横超慧日氏による「初章中仮義」の発見から始まった。その後、1970年に、同じく大谷大学の三桐慈海氏によって『大乘玄論』の「八不義」が実は『大乘四論玄義記』の「八不義」と同一であることが報告された。一方、伊藤隆寿氏は、三桐氏よりも1年早く、1969年に『大乘四論玄義記』に関する論文を発表した。伊藤氏は、引き続き、『大乘四論

玄義記』に関するいくつかの論文を発表し、1974年から1976年にかけては、三桐氏の「初章中仮義」の翻刻の提供を受けて、長編の「三論教学における初章中仮義」上・中・下を発表した。ちなみに、この「初章中仮義」は、崔鉉植校注『校勘 大乘四論玄義記』に収録され、これによって「初章中仮義」がはじめて公開されたことになる。

伊藤氏の当時の研究は、1976年に終わった。一方、三桐氏はその後、1996年まで、「二諦

義」「二智義」などについての論文を発表した。

その他、福島光哉氏、森江俊孝氏、諏訪隆茂氏の論文は、感応思想を解明する過程において『大乘四論玄義記』「感応義」を利用したものであった。また、仏性思想を解明する目的のために、『大乘四論玄義記』「仏性義」を部分的に利用する論文もいくつかあった。

このような研究状況のなかで、『大乘四論玄義記』のテキスト研究の成果として、慧均撰・崔鉉植校注『校勘 大乘四論玄義記』（金剛学術叢書2、金剛大学校仏教文化研究所、2009年6月）が刊行され、写本の研究はおおむね果たされた感がある。

筆者自身は、平成19年度～21年度の3年間、科研費の基盤研究(C)「慧均『大乘四論玄義記』に基づく中国南朝仏教学の再構築」が採択され、『大乘四論玄義記』に関する若干の研究を推進した。

2. 研究の目的

南朝仏教学の研究の大きな意義を踏まえ、またその領域での『大乘四論玄義記』の資料的価値を重視し、あわせて、『大乘玄論』、その他の資料を用いて、南朝仏教学のいくつかの側面に光を当てたいと考えた。

3. 研究の方法

- (1) 『大乘四論玄義記』は大部の著作なので、特に「仏性義」についての現代語訳と注釈研究を進めること、
- (2) 『大乘四論玄義記』「仏性義」について詳細に内容を分析した研究論文を発表すること、
- (3) 『大乘四論玄義記』「仏性義」を研究する際には、『大乘玄論』「仏性義」、『涅槃経遊意』、元暁『涅槃宗要』、『三論略章』などの著作との比較研究を行なうこと、
- (4) その他、南朝仏教学に関するテーマについて、積極的に研究し、研究論文を発表することである。

4. 研究成果

- (1) 『大乘四論玄義記』のテキスト研究の成果として、すでに慧均撰・崔鉉植校注『校勘 大乘四論玄義記』（金剛学術叢書2、金剛大学校仏教文化研究所、2009年6月）が刊行されたので、とくに「仏性義」の現代語訳と注釈研究に取り組んだ。
- (2) 日本印度学仏教学会や海外の学会で、『大乘四論玄義記』に関する研究発表を行な

い、その成果を数篇の専門の論文として刊行した。

具体的には、

1. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第一大意」の分析」(『創価大学人文論集』24, 2012.3, pp. 47-71)
2. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第二積名」の分析」(『印度学仏教学研究』61-1, 2012.12, pp. 471-464L)
3. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第二積名」について」(『創価大学人文論集』25, 2013.3, pp. 47-71)
4. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第三体相」の分析」(『印度学仏教学研究』62-1, 2013.12, pp. 471-464L)
5. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第三体相」の分析について」(『創価大学人文論集』26, 2014.3, pp. 13-39)

上記の論文は、いずれも『大乘四論玄義記』「仏性義」についての筆者の訳注研究に基づいて、「仏性義」の内容について詳細な分析を加えたものである。関連する著作である『大乘玄論』「仏性義」、『涅槃経遊意』、元暁『涅槃宗要』、『三論略章』などの仏性説との比較も試み、対照表を作成して公表した。

なお、書評ではあるが、「書評 高野淳一『中国中観思想論—吉蔵における「空」—』」(『集刊 東洋学』108, 2012.1, pp. 107-121)は、著者が『大乘玄論』に基づいて、吉蔵の思想を分析しているのので、『大乘玄論』の吉蔵撰述の真偽問題をめぐる議論を整理した。

- (3) 南朝仏教学に関する研究成果として、『法華文句』、『法華玄義』の訳注研究を出版した。

具体的には、

1. 『法華文句』(IV) (2011.9, 第三文明社)
2. 『新国訳大蔵経・中国篇・法華玄義 I』 (2011.9, 大蔵出版)
3. 『新国訳大蔵経・中国篇・法華玄義 II』 (2013.2, 大蔵出版)
4. 『法華玄義を読む—天台思想入門』 (2013.4, 大蔵出版)

- (4) 南朝仏教学の重要人物である道生、法雲、慧思、吉蔵などの思想研究をすすめ、論文を発表した。

具体的には、

1. 「吉蔵論仏教論争与批判的方法—以関于《法華経》宗旨観的論争为中心」(『宗教研究』2010 [宗教文化出版社, 2012.3], pp. 22-33)
2. 「中国法華経疏的研究与今後の課題」(中国人民大学仏教与宗教学理論研究所編『宗教研究』2011 [宗教文化出版社,

- 2012.9] pp. 23-39)
3. 「慧思的忍辱思想—以《法華經安樂行義》為中心—」(中国人民大学仏教与宗教学理論研究所編『宗教研究』2012 [宗教文化出版社, 2013.1] pp. 23-39)
 4. 「『法華經』の中国的展開」(『シリーズ 大乘仏教 5・智慧/世界/ことば』所収, 2013.5, 春秋社), pp. 305-329)
 5. 「『維摩經玄疏』訳注 (三)」(『多田孝文 名誉教授古稀記念論文集 東洋の慈悲と智慧』所収, pp. 33-54, 山喜房仏書林, 2013.3)
 6. 「光宅寺法雲の法華經觀」(『東アジア仏教学術論集』12, 2014.2, pp. 67-89)

(5) 南朝仏教学に関するこれまでの研究の集大成として、筆者の 27 篇の論文の論文集を刊行した。

具体的には、『南北朝・隋代の中国仏教思想研究』(2012.2, 大蔵出版)である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 12 件)

1. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第三体相」の分析について」(『創価大学人文論集』26, 2014.3, pp. 13-39)
2. 「光宅寺法雲の法華經觀」(『東アジア仏教学術論集』12, 2014.2, pp. 67-89)
3. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第三体相」の分析」(『印度学仏教学研究』62-1, 2013.12, pp. 471-464L)
4. 「『法華經』の中国的展開」(『シリーズ 大乘仏教 5・智慧/世界/ことば』所収, 2013.5, 春秋社), pp. 305-329)
5. 「『維摩經玄疏』訳注 (三)」(『多田孝文 名誉教授古稀記念論文集 東洋の慈悲と智慧』所収, pp. 33-54, 山喜房仏書林, 2013.3)
6. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第二積名」について」(『創価大学人文論集』25, 2013.3, pp. 47-71)
7. 「書評 高野淳一『中国中観思想論—吉蔵における「空」—』」(『集刊 東洋学』108, 2013.1, pp. 107-121)
8. 「慧思的忍辱思想—以《法華經安樂行義》為中心—」(中国人民大学仏教与宗教学理論研究所編『宗教研究』2012 [宗教文化出版社, 2013.1] pp. 23-39)
9. 「中国法華經疏的研究与今後の課題」(中国人民大学仏教与宗教学理論研究所編『宗教研究』2011 [宗教文化出版社, 2012.9] pp. 23-39)
10. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第二積名」の分析」(『印度学仏教学研究』61-1,

2012.12, pp. 471-464L)

11. 「吉蔵論仏教論争与批判的方法—以關於《法華經》宗旨觀的論争為中心」(『宗教研究』2010, 2012.3, pp. 22-33)
12. 「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第一大意」の分析」(『創価大学人文論集』24, 2012.3, pp. 47-71)

[学会発表] (計 8 件)

1. 2013. 8. 31 第 64 回日本印度学仏教学会 (島根県民会館)において、「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第三体相」の分析」と題して研究発表
2. 2013. 6. 22 第二回中日韓国際仏教学術大会 (北京、中国人民大学)において、「光宅寺法雲的《法華經》觀」と題して研究発表
3. 2012. 12. 5 Seventh Biennial International Conference on Buddhist Texts (インド・ムンバイ)において、“Daosheng's Commentary on the Lotus Sutra”と題して研究発表
4. 2012. 6. 30 第 63 回日本印度学仏教学会 (鶴見大学)において、「『大乘四論玄義記』「仏性義」の基礎的研究」と題して研究発表
5. 2011. 12. 3 東アジア仏教研究会・第十回年次大会において、「『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第一大意」の分析」と題して研究発表
6. 2011. 11. 14 第一回国際仏学論壇 (中国人民大学国際仏学研究中心主催)において、「中国仏教術語的英文翻訳」と題して研究発表
7. 2011. 9. 17 方立天從教五十年記念研討会 (北京、中国人民大学)において、「中国法華經疏的研究与今後の課題」(中文)と題して研究発表
8. 2011. 6. 21 第 16 回国際仏教学会 (IABS, 台湾)において、“On the ‘Four modes of interpretation’ of the *Fahua wenju*”と題して研究発表

[図書] (計 6 件)

1. 『法華玄義を読む—天台思想入門』(2013.4, 大蔵出版)
2. 『新国訳大蔵經・中国篇・法華玄義 II』(2013.2, 大蔵出版)
3. 『増補新訂版 法華經—永遠の菩薩道』(2012.7, 大蔵出版)
4. 『南北朝・隋代の中国仏教思想研究』(2012.2, 大蔵出版)
5. 『新国訳大蔵經・中国篇・法華玄義 I』(2011.9, 大蔵出版)
6. 『法華文句』(IV) (2011.9, 第三文明社)

[産業財産権]

○出願状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

菅野，博史 (KANNO HIROSHI)
創価大学・文学部・教授
研究者番号：50204805

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：